

ナノテクノロジー・材料 共通基盤技術検討ワーキンググループ報告

2012年7月4日

ナノテクノロジー・材料
共通基盤技術検討ワーキンググループ

0. はじめに

<第4期科学技術基本計画の推進体制>

- 第4期科学技術基本計画においては、科学技術イノベーションの一体的展開等を基本方針とした上で、第3期の技術分野別の重点化から社会の課題対応型の重点化へ大きな考え方の転換がなされる中、ICT及びナノテクノロジー・材料に関する科学技術については、震災からの復興、再生の実現、グリーンイノベーション、ライフイノベーション等の社会の多様な課題解決に貢献する重要な共通基盤的な技術と捉え、これら分野の科学技術を着実に推進することが必要とされた。
- 総合科学技術会議では、第4期科学技術基本計画の推進体制を構築。科学技術イノベーション政策推進専門調査会の下、課題対応の産官学等の議論の場として、復興再生戦略協議会、グリーンイノベーション戦略協議会、ライフイノベーション戦略協議会等を設置した。
- 併せて、これらの戦略協議会等と緊密な連携をとる形で、ICTとナノテクノロジー・材料分野については共通基盤技術の検討の場として、それぞれ、ICT共通基盤技術検討WG、ナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討WG（以下、「ナノテク・材料WG」という。）が設置された。

産官学の連携・協力の場の設置

科学技術イノベーション政策の展開



共通基盤技術検討ワーキンググループ
(ナノテクノロジー・材料)

0. はじめに(2)



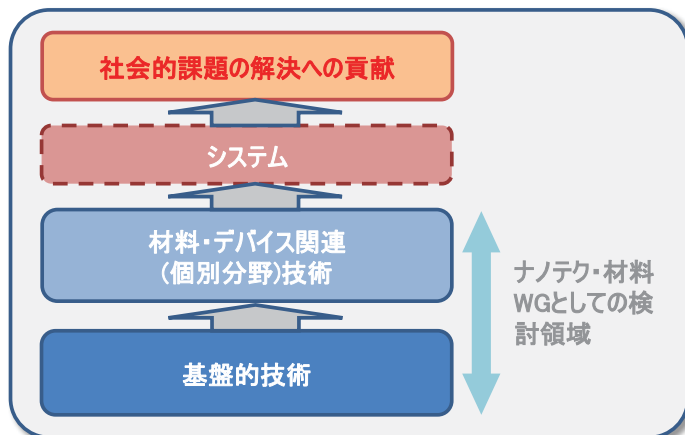
1. ナノテク・材料WGの設置趣旨と検討体制(1)

<ナノテク・材料WGの役割>

- 第4期科学技術基本計画の第Ⅱ章及び第Ⅲ章に掲げた課題の達成に向け、横断的に活用されるナノテクノロジー・材料の技術※を検討する。
- 国内外の技術動向の把握・分析を行い、国際競争力の視点からナノテクノロジー・材料の技術の強化を促進する。
 ※本WGにおいて検討対象とする技術は基盤的技術及び材料、デバイス分野の要素技術とし、それら要素技術を応用したシステム化技術は含まないこととする。ただし、この検討対象の範囲については、今後の本WGにおける検討の対象とする。

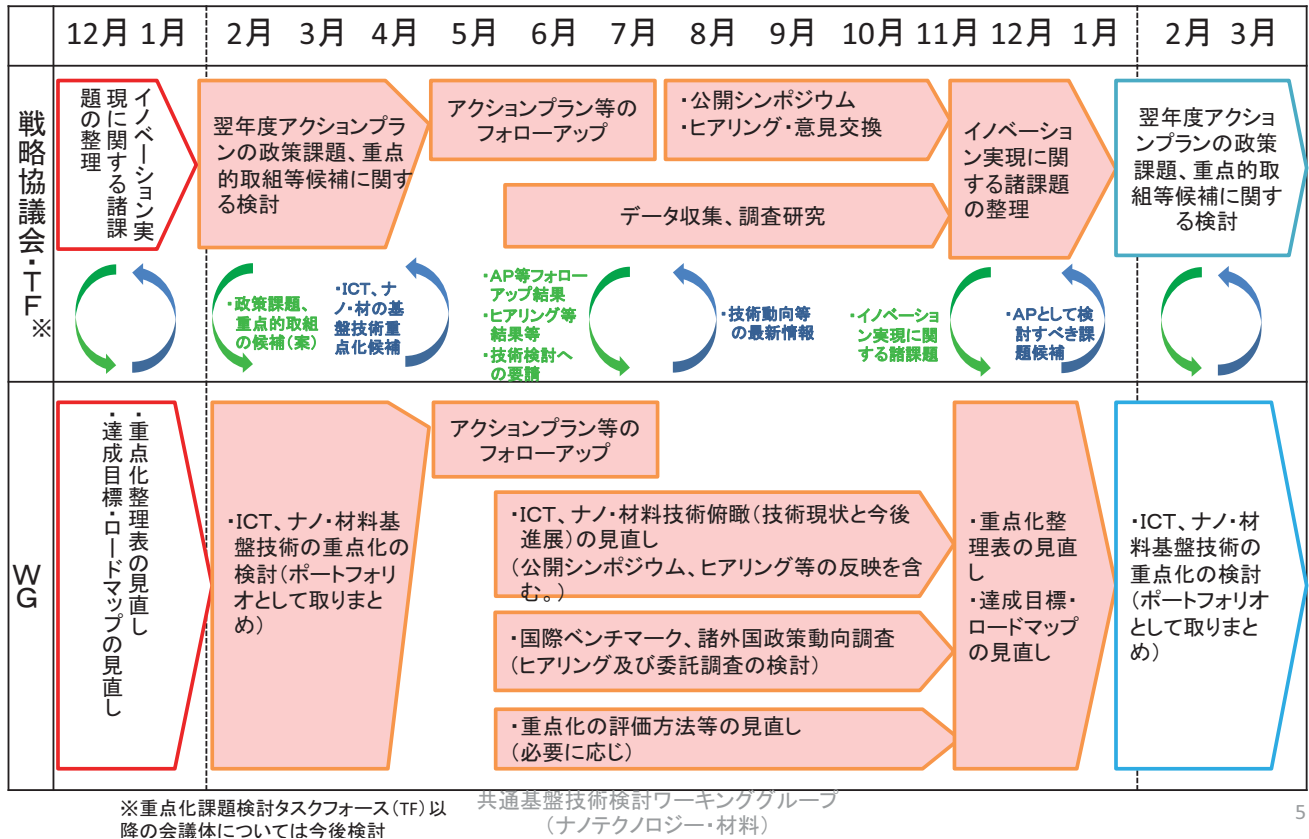
<期待される成果>

- 第4期科学技術基本計画の第Ⅱ章及び第Ⅲ章に掲げた課題の達成に向け、将来、必要と考えられる技術開発課題を特定し、各科学技術イノベーション戦略協議会等へ提案する。
- 共通基盤技術に関する達成目標・ロードマップを作成し、科学技術イノベーション戦略協議会等と共有し、同戦略協議会等の検討へ生かす。



1. ナノテク・材料WGの設置趣旨と検討体制(2)

共通基盤技術検討WGにおける検討フロー (ICT及びナノテクノロジー・材料 共通)



1. ナノテク・材料WGの設置趣旨と検討体制(3)

<メンバー一覧>

- メンバーは、アカデミア、産業界、専門家及び関連府省により構成
- アカデミア及び産業界メンバーについては6名中それぞれ2名ずつがグリーンイノベーション、ライフイノベーション及び復興・再生の各戦略協議会のメンバーを兼ねる。

- | | |
|-----------|--|
| 菊地 眞 | 財団法人医療機器センター 理事長
(ライフイノベーション戦略協議会委員) |
| 児玉 敏雄 | 三菱重工業株式会社 執行役員 技術統括本部副本部長
(復興・再生戦略協議会委員) |
| 武田 晴夫 | 株式会社日立製作所 研究開発本部 技術戦略室 室長
(グリーンイノベーション戦略協議会委員) |
| 塚本 建次【主査】 | 一般社団法人ナノテクノロジービジネス推進協議会(NBCI) 副会長
昭和電工株式会社 技術顧問 |
| 成戸 昌信 | 東レ株式会社 常任理事 医薬・医療信頼性保証室長
(ライフイノベーション戦略協議会委員) |
| 馬場 寿夫 | 独立行政法人科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー |
| 松下 祥子 | 国立大学法人東京工業大学大学院 理工学研究科 准教授
(グリーンイノベーション戦略協議会委員) |
| 松八重 一代 | 国立大学法人東北大学大学院 工学研究科 准教授
(復興・再生戦略協議会委員) |

(総合科学技術会議)

奥村 直樹 総合科学技術会議議員

(関係府省等)

文部科学省、厚生労働省、経済産業省

(関係研究機関)

(独)物質・材料研究機構、国立医薬品食品衛生研究所、(独)産業技術総合研究所、

(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構

共通基盤技術検討ワーキンググループ
(ナノテクノロジー・材料)